

フリーデン・ニューヨーク市衛生局長記者会見

(4月29日午後2時25分)

ニューヨーク市における豚インフルエンザ(Swine Flu)確認例の増加

4月29日午後2時25分、フリーデン・ニューヨーク市衛生局長が行った記者会見の概要以下のとおり。

フリーデン衛生局長

- ・ 昨日「疑われる」としていた5件について、本日豚インフルエンザと確認された。三人はセント・フランシス高校と関係がある者、一人はブロンクスの19ヶ月の子供、一人はブルックリンの若い女性である。この二人は入院していたが、現在は自宅療養している。
- ・ これにより、ニューヨーク市で49件の感染が確認された。すべてセント・フランシス高校又はメキシコのいずれかと接触のあったものである。
- ・ ほかに2件の豚インフルエンザと思われる症例についてCDCで確認中であり、明日判明する見込みである。
- ・ セント・フランシス高校では数百人の生徒に豚インフルエンザの症状が出ているが、その数は減ってきており、全員が快方に向かっている。重症(severe illness)は一件もない。
- ・ 市立177校の結果は今夜届くだろう。陽性なら、今週いっぱい休校にする。症状のある生徒は増えていないということで、これはよいニュースだ。集団感染は一校(セント・フランシス高校)のみであり、市立177校は検査中である。
- ・ アセンション校の検査結果は今夜わかるだろう。
- ・ ブルックリンの私立校2校が休校した(報道によれば、グッド・シェパード校(マリーン・パーク地区)及びセント・ブリジッド校(ブッシュウィック地区))。しかし、我々は学校を休校にする必要を感じていない。
- ・ ニューヨーク市内には110万人の生徒がおり、インフルエンザの症状がある生徒がいなか調査している。
- ・ 豚インフルエンザは通常の季節性のインフルエンザと同様の経過を示している。インフルエンザは死に至ることもあるので、いずれにせよ市民は注意が必要だ。特に妊娠中の女性、高齢者及び乳児はウィルスに冒されやすい。
- ・ 季節性のインフルエンザでは毎年約1000人の市民が亡くなっている。伝染性が強くより深刻になればさらなる対策を取る必要があるが、現在のところそのようなインフルエンザより致死率が高いという証拠はない。
- ・ 我々は本当に必要としている患者に投与するだけの十分なタミフルを保有している。